

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名		環境産業部 農林水産課	
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産費
	項	01	農業費
	目	03	農業振興費

事業名	担い手経営基盤強化事業	事業開始年度	平成 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	新規就農総合支援事業実施要綱 廿日市市農業振興補助金交付要綱第5 次総合計画（農産物の品質向上）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	認定農業者、農業生産法人、新規就農者	新規就農者の経営・生産技術の指導（担い手支援事業）により、地域農業の担い手となる農業者を育成する。また、人・農地プランの策定支援及びプラン達成のための各種事業（青年就農給付金、機構集積協力金）を実施する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
担い手協議会 市	補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務	農協	補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

・ 担い手支援事業補助金

1,000 千円

市、農業委員会、J A、県が構成員である廿日市市地域担い手育成総合支援協議会において、経営力の高い農業者を育成するため、若い農業者に対して、経営・生産技術の指導事業を行い、次世代の本市農業の担い手を育成する。

・ 集落法人経営基盤強化事業補助金

500 千円

吉和地域の担い手である農事組合法人よしわが取り組む、売れる米づくりや地産地消（学校給食米）の推進を促し、農業経営の安定に向けて支援する。

・ 新規就農総合支援事業（青年就農給付金）

9,750 千円

新規就農者の就農直後の経営の不安定な時期に所得を確保するための給付金を交付することにより、就農後の確実な定着と早期経営安定を図る。

・ 機構集積協力金（地域集積協力金）

2,000 千円

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、人・農地プランに基づき、農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた地域において、新たな農業経営を始める担い手、規模拡大及び分散錯圖を解消する担い手を含む地域に対し支援する。

【歳入】 県支出金

農業振興基金繰入金

500 千円

新規就農総合支援事業補助金

9,750 千円

機構集積協力金

2,000 千円

【歳出】

担い手支援事業補助金

1,000 千円

集落法人経営基盤強化事業補助金

500 千円

新規就農総合支援事業（青年就農給付金10名分）

9,750 千円

機構集積協力金

2,000 千円

計

13,250 千円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
直接事業費 A		15,779,156	17,200,000	13,250,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	11,600,000	10,500,000	11,750,000	
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)	3,395,000	3,000,000	500,000	
	市（市税など）	784,156	3,700,000	1,000,000	
人件費（按分） B		0.11 人 933,460	0.11 人 936,210	0.11 人 951,390	
総事業費 (A+B)		16,712,616	18,136,210	14,201,390	
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり	142	154	121	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
活動成果	新規就農者経営面積	a	866	966	1,066	
	新規就農者（給付金対象者累計）	人	7	9	11	
	軟弱野菜（ほうれんそう等）販売量	t	77	96	174	
	認定農業（就農）者数	戸	24	27	31	